

1階・3階PCを増設しました。



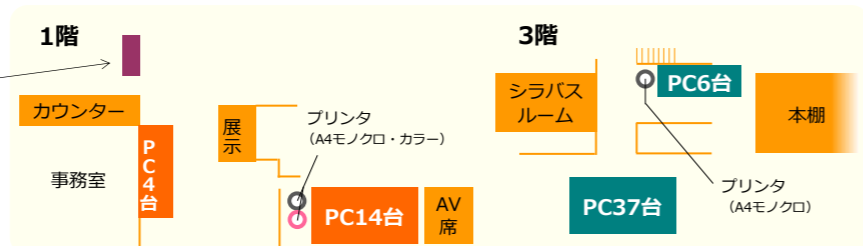
1階は13台から**18台**に増えました。
カラープリンタも1台設置しました(1階)。館内どのPCからでも出力できます。



3階は28台から**43台**に増えました。
設置場所も見直し、本棚への導線を改善しました。



大画面の電子掲示板でご案内します。



4~5月展示テーマは 新入生応援 「Let's Start Campus Life」

でも、どうすればいいんだろう...

充実したキャンパスライフを送るぞー!

そんな期待や不安を抱える皆さんへ新生活のヒントになる本を紹介します。知識の宝庫である図書館を活用して、充実した大学生活をスタートさせてください。



図書館キーワードラリー

4~5月展示と連動した企画です。スタートはカウンターから。図書館をぐるっと一周して、キーワードを集めよう。正解者にはプレゼントがあります。ぜひご参加ください。(学内者限定)
5月はクイズラリーを予定しています。

図書館員のおすすめ

『星の王子さま』(岩波文庫)

サン=テグジュペリ作; 内藤濯訳. 岩波書店. 2017.7 (953//Sa22)

紹介者: 川崎

200以上の国と地域の言葉に翻訳され、世界中で読まれている物語。「童話」に属しますが、大人になっても、何度読んでも新しい発見があります。“心で見なくちゃ、ものごとはよく見えない” “かんじんなことは、目に見えない” というキツネの言葉が大人になった心に響きます。本書を読んで、大切なものについて考えを巡らせてみるのも、自分を見つめ直す良い機会になるかもしれません。実はこの本を読み返したきっかけはある施設の「袋とじ本」の企画でした。当館でも毎年「本の福袋」「仮面本」といった同様の企画を行っていますので、素敵な本との出会いや再会を果たす機会となれば幸いです。



図書館彙報

3/5	平成30年度大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)総会に出席	3/14	平成30年度JURA運営委員会開催
3/8	SciFinder利用講習会開催	3/27	平成30年度地域相互協力図書館合同研修会開催
3/13	英語論文執筆セミナー開催	3/28	坂戸市立図書館協議会に出席
3/13	平成30年度オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)総会に出席		
3/14	平成30年度第3回図書館合同(運営・選書)委員会開催		高校生見学 (3/19) 図書館見学者数: 45名

「能動的学習と教育評価」 水田記念図書館長 薬学部教授 関 俊暢

水田記念図書館7F, 8Fに、昨年(平成30年)10月に新たな「ラーニング・コモンズ」がオープンしました。「ラーニング・コモンズ」は、能動的学習を行う場として、今日大学図書館で必須の施設と考えられており¹⁾、本学でもすでに多くの授業で利用されています。本稿では、能動的学習とその結果として期待される総合的な学習成果の評価について話題を提供できればと思っています。

学習成果基盤型教育(Outcome-Based Education, OBE): OBEは、医学教育において先行的に導入され²⁾、本邦の薬剤師養成教育でも平成27年度入学生からその導入が始まっています。コンピテンシー基盤型教育という表現もありますが、専門職業人が持つ知識、技能、価値観、態度などの複数の要素を統合した観察可能な能力である「コンピテンシー」を獲得させるように、段階的なマイルストーンを設定し、逆算的に、螺旋を組むようにカリキュラムがデザインされます。卒業時に専門職業人としての能力をアウトカムとして保証することは、医療系以外も含め、高等教育のすべての分野で求められつつあるように感じています。いくつもの能力を駆使し、本物の専門職のようにパフォーマンスを発揮するためには、実際の場での経験を教育課程に組み込むことが必要で、必然的に能動的学習が質・量ともに求められることとなります。

教育評価法: しかし、複数の能力の組み合わせで生じるパフォーマンスを従来のようなペーパー試験で評価することは不可能です。OBEの有効化において、このことが大きな壁となります。教育評価法は、量的評価-質的評価と直接評価-間接評価の直交する二つの軸で考えることができます³⁾。学生の自己評価である「間接評価」よりも「直接評価」が、「質的評価」よりも「量的評価」が、公平で客観的な評価としては優れています。パフォーマンスとその成長を評価するためには、量的な間接評価である在学生(卒業生)アンケートや質的な間接評価であるリフレクションシートを、質的な直接評価となる教員による観察記録と組み合わせ、「学修ポートフォリオ」に蓄積していくことが、評価が主観的であるという問題を抑制して教育およびその成果の質を保証するために必要となります。「ルーブリック」は、その評価活動において、教員と学生が求める姿、価値観を共有するために、丁寧に準備することが求められ

学習: 各授業における学び、学修; 課程における学び

- 1) 加藤信哉、小山憲司(編訳)、ラーニング・コモンズ大学図書館の新しいかたち、2012、勁草書房。
- 2) 田邊政裕(編著)、アウトカム基盤型教育の理論と実践、2013、篠原出版新社。
- 3) 松下佳代、パフォーマンス評価による学習の質の評価、京都大学高等教育研究、18号、75-114(2012)。
- 4) Kolb, D. A., Experiential Learning: Experience as the Source of Learning and Development, 1984, Prentice Hall.
- 5) 松尾睦、「経験学習」入門、2011、ダイヤモンド社。
- 6) アラン・ブリチャード、ジョン・ウーラード(著)、田中俊也(訳)、アクティブラーニングのための心理学、2017、北大路書房。

ます。(ルーブリック; パフォーマンスの質を段階的に示した表)

経験学習: 本物の専門職としてのパフォーマンスを向上させる学修においては、学習の方法である方略と教育評価を分離することは困難です。例えば、漁師の能力を漁獲高で評価すれば、量的な直接評価を客観的にすることができそうですが、漁師としての真のパフォーマンスは多様に変化する漁場の状況にどう対応しているかを質的に評価しなければなりません。学んでいる姿そのものを評価していくこととなります。Kolbは、経験学習モデルを提示しています。「具体的経験」→「内省的観察(省察)」→「抽象的概念化(学び)」→「能動的実験(試行)」→のサイクルを回しながら学修していくというものです⁴⁾。このサイクルで最も重要なのは「省察(自己による振り返り)」です。間接評価としてリフレクションさせるということは、能動的学習においては大きなウェートを占めます⁵⁾。

学習構成主義: 「経験」はすれば良いのではなく、その過程で高度な専門知識が身につくことが必要です。「学習構成主義」という考え方があります⁶⁾。能動的な学習において学習者は、今持っている知識や既存の概念に基づいて新しい考えや概念を自分自身の形で自己の内面に構成していきます。「経験」により「認知構造」を構成していくように能動的学習はデザインされるべきです。客観的に量的に評価可能な能力は、すべてAIで代用可能となることを考えると、この「認知構造」の質を評価し、それを保証していくことがこれから求められることになると思います。

最後に少しでも本の話を書かせていただきます。塩野七生の「十字軍物語」(1~4、新潮文庫)が文庫化されました。考えさせられることや学ぶことが多く含まれます。ご一読をお勧めいたします。

皆様に図書館の積極的な利用をお願いいたします。



4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

□	平日	9:00-21:00	□	休館
□	土曜	9:00-19:00		
□	日曜	9:00-17:00		



Learning Space

一人でもグループでも 多彩な学習スペース

1~3・5・9階は静かに学習できるフロア。4・6~8階はグループで話し合いながら学習できるフロアです。5名以上で利用できるグループ学習室や、1人で集中できる個人閲覧室、AV視聴席、PC席もあります。



【写真 学習のための会話OKな7・8階】7階はレイアウト自由なデスクがあり、8階にはPCブースとソファ席があります。友人同士で教えあいながらも、そんな周囲に刺激されながら一人でも、多様な形で勉強できるスペースです。

図書館へ行ってみよう

9階建て・図書48万冊

資料の上手な探し方を「図書館員」にきいてみよう
探している本が見つからない、どの資料を見れば良いのか分からないなど、調べ方の「困った」を、カウンターで優しくサポートします。

「学生アドバイザー」は頼れる先輩教員の推薦を受けた学生・大学院生が「学生アドバイザー」として、経験を基に皆さんをサポートします。レポート作成の相談やPCの使い方、大学での学習で分からないことがあれば、気軽に相談してください。



Student Advisor
Mizuta Memorial Library

学生アドバイザーは、ロゴの入った青いパーカーが目印。1階・3階・7階に在席しています。

困ったらカウンターへ

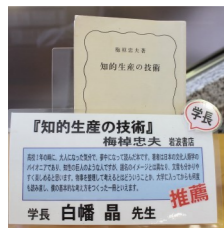


Learning Support

調べものや学習相談について気軽に話せる
図書館員と学生アドバイザー

色々な資料を読んでみよう

先生のイチオシ



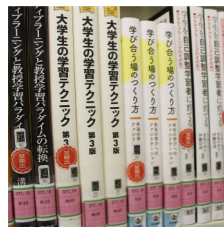
1階教員おすすめ図書
学長、図書館長をはじめ先生が選ぶ「皆さんへ読んでもらいたい」本のコーナーです。読みやすいものもたくさん並んでいます。

小説好きなら



2階文学賞コーナー
本屋大賞、直木賞、日本SF大賞など、国内の主要な文学賞の本を取り揃えています。

教科書



3階シラバスルーム
講義要覧(シラバス)に掲載された教科書と参考書が並んでいます。図書館ホームページから教員名でも確認できます。

科学好きなら



1階ブルーボックス
文庫・新書コーナーにあるブルーボックスは、科学の新しい話題を様々な分野から取り上げているシリーズ。手ごろな大きさで、文章も読みやすい本です。

貸出・返却は1階カウンターへ

借りたいとき

学生証で借りることができます。

借りたい資料と学生証をカウンターへ持ってきてください。禁帯出ラベルがあるものなど、館内利用のみの資料もあります。分からないときはカウンターへ聞いてください。

貸出期間

2週間貸出の図書は返却期限を過ぎていなければ延長可能です。

	図書	雑誌	AV資料
1~3年生	2週間	1週間	2週間
卒業年次生			
大学院生	90日間	1週間	2週間
薬学部早期研究室配属生 & 4~6年生			

様々な経験ができる 企画イベント

Library Event



本や人を通じた新たな発見や交流ができるイベントを企画しています。開催情報は、図書館ホームページやTwitterでお知らせします。

- 1 リオ五輪リレー代表・佐藤拳太郎さん(当時 経営学部4年)によるトーク会
- 2 図書館員指導による豆本作り ※1、2：第10・16回ライブラリーラウンジにて
- 3 全国大学ビブリオバトル ※3：2018年関東地区決戦Cブロックにて